



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月4日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 正紀
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 岡野 武治

TEL 093-372-9214

四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	3,385	16.1	36	—	198	—	107	—
25年11月期第2四半期	2,915	△38.2	△274	—	△193	—	△120	—

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 105百万円 (—%) 25年11月期第2四半期 △101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	6.07	—
25年11月期第2四半期	△6.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第2四半期	10,580	8,876	83.9	502.51
25年11月期	11,140	8,807	79.1	498.49

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 8,876百万円 25年11月期 8,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,002	8.1	135	0.7	380	25.0	220	17.3	12.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	17,930,000 株	25年11月期	17,930,000 株
26年11月期2Q	265,085 株	25年11月期	260,999 株
26年11月期2Q	17,667,570 株	25年11月期2Q	17,669,664 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策の効果を背景に企業収益や雇用情勢の改善が進み景気は回復基調にあるものの、海外経済リスクに対する懸念等もあり、企業を取り巻く環境は楽観視できない状況で推移いたしました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループにおきましては、国内原子力発電所が再稼働されない状況が続く中、依然として限られた需要環境での活動を強いられることとなりました。

このような状況の下、バルブ事業におきましては、一部繰延案件は生じたものの、国内では島根原子力発電所および川内原子力発電所向け震災対策弁や新設プラントである川崎火力発電所2号系列2軸向けの販売を中心に前年同期並みの売上高を計上いたしました。また、海外につきましては、台湾、インド、ベトナムなどの新設プラント案件を主力として売上高が伸長し、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

一方、メンテナンス事業におきましては、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に向けた点検工事が売上の中心となりましたが、その他においては期を通して小規模な施工に終始し、また工事案件も少なかったことから、第1四半期に続き低調に推移いたしました。

損益面におきましては、第1四半期では売上高不足から大幅な営業損失を計上しましたが、第2四半期に入り売上高が増加し、またメンテナンス事業において中規模ながら採算性の高い原子力関連の工事が売上に計上されたこともあり、事業全体で営業利益を確保するまでに持ち直しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,385百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益36百万円（前年同期は営業損失274百万円）と、いずれも前年同期を上回りました。

また、平成26年6月24日に公表いたしましたとおり、東日本大震災に伴う賠償金122百万円が営業外収益に計上されたこともあり、経常利益は198百万円（前年同期は経常損失193百万円）、四半期純利益107百万円（前年同期は四半期純損失120百万円）となりました。

このほか、営業外収益には、平成25年度先進超々臨界圧火力発電実用化要素技術開発費補助金10百万円が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ560百万円減少し、10,580百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が333百万円増加した一方で、現金及び預金が213百万円、受取手形及び売掛金が470百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ629百万円減少し、1,703百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が207百万円、未払法人税等が175百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ68百万円増加し、8,876百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が71百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

下期につきましては、バルブ事業では、島根原子力発電所および志賀原子力発電所向け震災対策弁の販売に加え、台湾やチリの新設火力発電所向け販売が本格化する予定であり、通期では前年売上高を上回る見込みであります。

メンテナンス事業におきましては、未だ国内原子力発電所が未稼働であり、今後も需要の低迷が継続するものと予想され、引き続き厳しい状況で推移するものと見込まれます。このような状況の中、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に向けた工事や女川原子力発電所の長期停止に伴う点検工事の他、小規模案件の積み上げにより売上高の確保に努めてまいります。

損益面におきましては、全体的な売上高増加に伴い改善の方向に向かうものと思われませんが、メンテナンス事業において収益性向上に寄与する大型案件がないことから、その程度は限定的なものにとどまると予想されます。

なお、現時点においては平成26年6月24日に修正いたしました通期業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は、今後の受注環境や顧客納期の変更等、様々な要因により変動する可能性を含んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項ありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,174,660	1,960,795
受取手形及び売掛金	4,641,917	4,171,648
製品	79,974	86,135
仕掛品	983,647	1,317,176
原材料	100,438	107,641
その他	368,064	248,874
流動資産合計	8,348,703	7,892,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	688,100	679,140
機械装置及び運搬具(純額)	930,589	875,332
その他(純額)	536,804	503,028
有形固定資産合計	2,155,494	2,057,502
無形固定資産	28,635	30,562
投資その他の資産		
投資有価証券	263,389	269,371
繰延税金資産	251,685	238,462
その他	96,512	95,824
貸倒引当金	3,600	3,600
投資その他の資産合計	607,987	600,058
固定資産合計	2,792,118	2,688,123
資産合計	11,140,821	10,580,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	516,005	308,155
未払法人税等	186,961	11,946
未払費用	239,403	210,905
賞与引当金	33,740	29,000
その他の引当金	235,197	85,622
その他	129,123	124,389
流動負債合計	1,340,430	770,018
固定負債		
退職給付引当金	669,571	628,632
役員退職慰労引当金	199,758	208,533
その他	123,180	96,386
固定負債合計	992,509	933,553
負債合計	2,332,940	1,703,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	7,047,894	7,119,718
自己株式	87,703	89,120
株主資本合計	8,790,190	8,860,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,613	22,167
繰延ヘッジ損益	7,923	5,943
その他の包括利益累計額合計	17,690	16,224
純資産合計	8,807,881	8,876,822
負債純資産合計	11,140,821	10,580,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	2,915,375	3,385,644
売上原価	2,599,819	2,828,837
売上総利益	315,556	556,806
販売費及び一般管理費		
役員報酬	91,334	87,770
給料手当及び賞与	162,555	170,579
賞与引当金繰入額	762	590
退職給付費用	12,654	9,477
役員退職慰労引当金繰入額	8,787	8,775
減価償却費	11,030	10,429
その他	302,492	232,331
販売費及び一般管理費合計	589,616	519,954
営業利益又は営業損失()	274,059	36,851
営業外収益		
受取利息	76	73
受取配当金	2,518	2,469
持分法による投資利益	8,734	11,049
受取賃貸料	13,593	13,975
補助金収入	32,840	10,851
受取補償金	23,044	122,182
その他	6,709	7,839
営業外収益合計	87,516	168,440
営業外費用		
支払利息	759	632
減価償却費	5,214	4,844
その他	1,167	872
営業外費用合計	7,141	6,348
経常利益又は経常損失()	193,685	198,943
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	193,685	198,943
法人税、住民税及び事業税	9,617	5,057
法人税等還付税額	10,026	-
法人税等調整額	73,018	86,723
法人税等合計	73,427	91,781
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	120,258	107,161
四半期純利益又は四半期純損失()	120,258	107,161

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	120,258	107,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,247	3,445
繰延ヘッジ損益	-	1,980
その他の包括利益合計	19,247	1,465
四半期包括利益	101,011	105,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,011	105,696
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	193,685	198,943
減価償却費	157,592	165,702
賞与引当金の増減額(は減少)	8,084	4,740
退職給付引当金の増減額(は減少)	39,115	40,938
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,787	8,775
受取利息及び受取配当金	2,594	2,542
支払利息	759	632
補助金収入	32,840	10,851
受取補償金	-	122,182
持分法による投資損益(は益)	8,734	11,049
固定資産除却損	-	414
売上債権の増減額(は増加)	15,811	470,269
たな卸資産の増減額(は増加)	161,237	346,892
仕入債務の増減額(は減少)	32,615	207,850
その他	164,641	132,911
小計	395,366	35,221
利息及び配当金の受取額	2,594	2,542
利息の支払額	759	632
補助金の受取額	32,840	10,851
補償金の受取額	-	122,182
法人税等の支払額	12,690	175,794
法人税等の還付額	50,939	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,443	76,071
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	9	7
有形固定資産の取得による支出	17,074	70,575
固定資産の除却による支出	-	280
無形固定資産の取得による支出	1,500	6,442
補助金の受取額	6,718	4,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,865	72,535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	28,302	28,305
配当金の支払額	70,231	35,541
自己株式の純増減額(は増加)	127	1,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,661	65,264
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	432,969	213,872
現金及び現金同等物の期首残高	3,239,146	1,854,651
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,806,176	1,640,779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,046,816	868,558	2,915,375	-	2,915,375
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,046,816	868,558	2,915,375	-	2,915,375
セグメント利益 又は損失()	24,392	54,706	30,313	243,745	274,059

(注) 1. セグメント利益の調整額 243,745千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	バルブ事業 (千円)	メンテナンス 事業(千円)	計(千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,413,917	971,726	3,385,644	-	3,385,644
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,413,917	971,726	3,385,644	-	3,385,644
セグメント利益	196,052	86,402	282,455	245,603	36,851

(注) 1. セグメント利益の調整額 245,603千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。